

AD-13 ウインドシールド 取扱・取付説明書

適応機種

アドレスV125S (UZ125SLO)
アドレスV125Sベーシック (UZ125SULO)

- 販売店様へ
この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ
この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

このたびは、AFウインドシールドをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

製造：株式会社 旭精器製作所
住所：東京都足立区舎人2-16-21
TEL：03-3853-1211

部品構成表

No	部品名称	QTY	No	部品名称	QTY
①	シールド ASSY	1	⑧	フランジボルト M10x40 (左側用)	1
②	ステー	2	⑨	フランジボルト M10x45 (右側用)	1
③	ホルダー-Zφ10.5	2	⑩	フランジナット M10	2
④	ナット M10	4	⑪	カラー16x11x25 (左側用)	1
⑤	スプリングワッシャー 10mm	2	⑫	カラー16x11x28 (右側用)	1
⑥	プレーンワッシャー 10mm	8	⑬	取扱・取付説明書	1
⑦	キャップナット M10	4			

スクリーン取扱について

⚠ 注意

- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- ウインドシールドが汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
- ウインドシールドは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- ウインドシールドの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。
またバッテリー液、ブレーキフルードがウインドシールドに付着しないようにしてください。ウインドシールドのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー(車体カバー)をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
- ボディカバー(車体カバー)をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、ウインドシールドが変形する場合があります。
- ボディカバー(車体カバー)を使用の際は、ウインドシールドに無理な力がかからないものをご使用ください。
小さなものを無理にかけますと、ウインドシールドが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
- 無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。
- この商品は、純正バックミラー用に設計していますので社外ミラーは取付けできません。
社外ミラーを取付けますと、ウインドシールドの取付部品が破損する可能性があります。

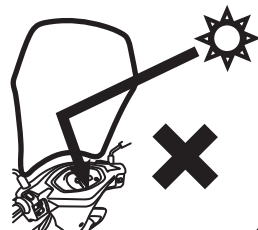
⚠ 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめにして走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所(路面の固い平坦地)を選んでください。
- ウインドシールドの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、シールドの交換を行ってください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。

締付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を
死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

— スクリーン反射集光の警告 —

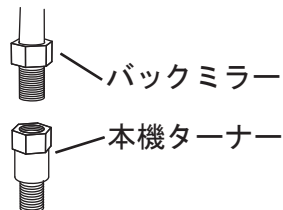
- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。
スクリーンが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し、車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでスクリーンをカバーして直射日光が
当たらないようにしてください。



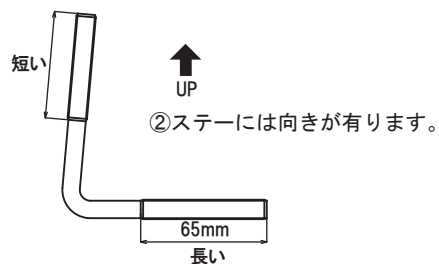
取 付 方 法

I

はじめに、本機バックミラー（本機ターナー付）を取り外します。



（参照図 1）



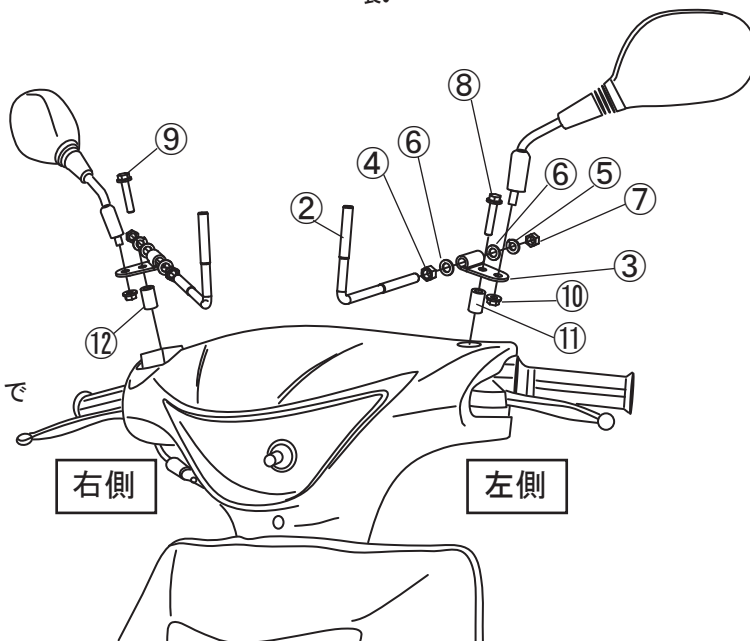
次に、図の様に 《左右有り》

左側は ③ホルダーZを ⑪カラー（短）
⑧フランジボルト（短）を使い仮組みします。
右側は ③ホルダーZを ⑫カラー（長）
⑨フランジボルト（長）を使い仮組みします。

次に、②ステーを ④ナット10mm、
⑤スプリングワッシャー10mm、
⑥プレーンワッシャー10mm、
⑦キャップナット10mmで ③ホルダーZに
仮組みします。

※③ホルダーZには取付け時向きが有りますので
向きに注意してください。

※②ステーには取付け時向きが有りますので
向きに注意して下さい。（参照図 1）

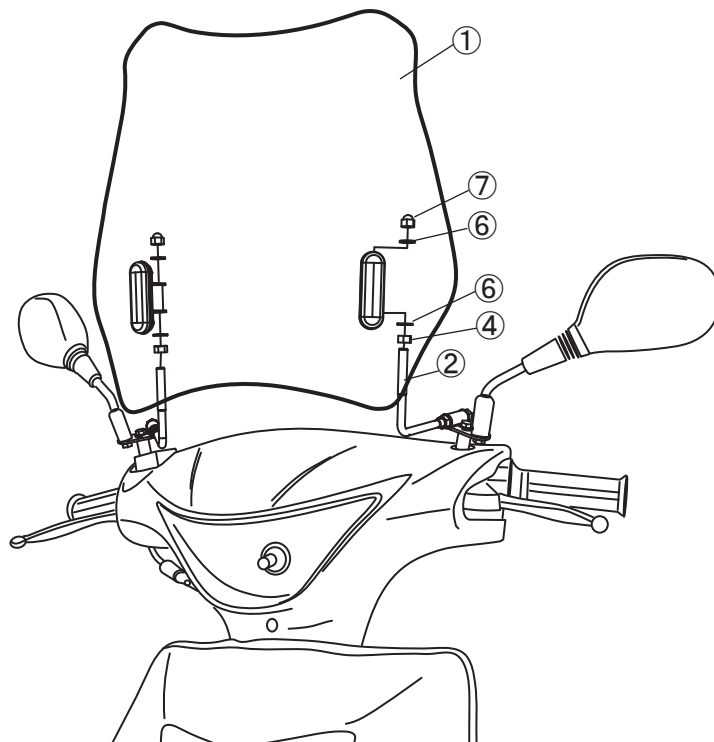
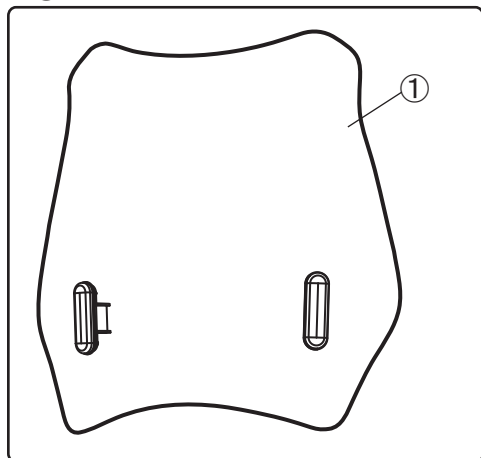


次に、本機バックミラーを
⑩フランジナット10mmを使い仮組みします。

II

②ステーに、①シールドASSYを
④ナット10mm、⑥プレーンワッシャー10mm
⑦キャップナット10mmを使い仮組みします。

①シールド ASSY

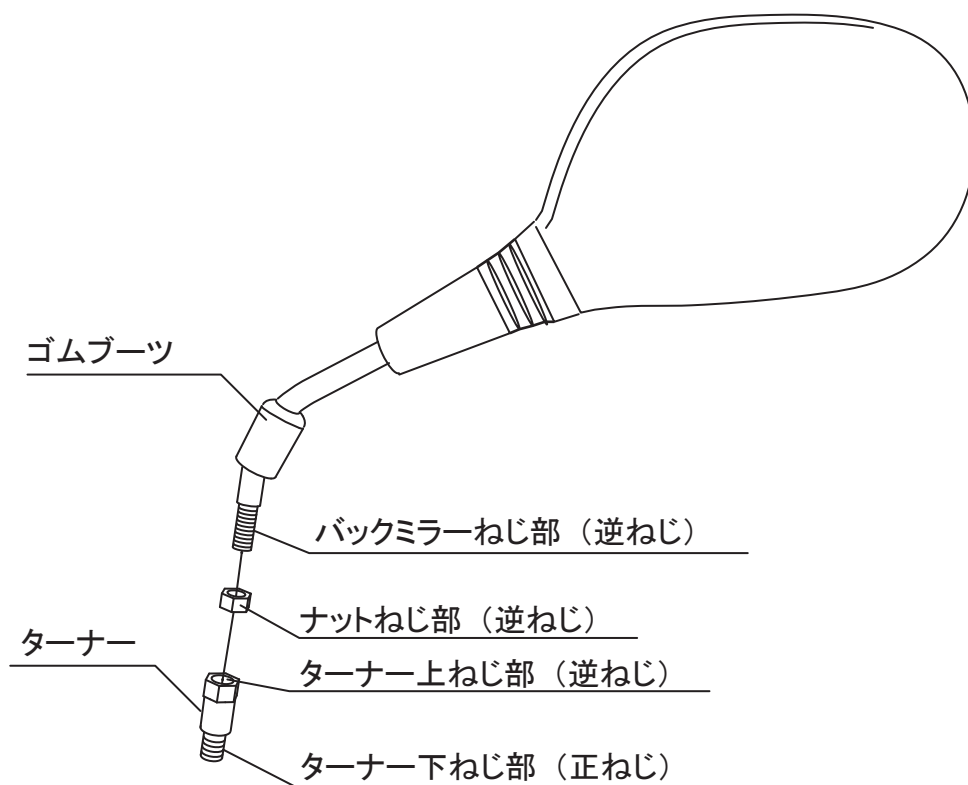


最後に前後左右のバランスを調整をし、
本機カバーとシールドのすき間を10mm以上あげ
ボルトナット類を確実に締め込みます。

バックミラーの取り外し方

各取説に、『本機のバックミラーを取り外します。』とありますバックミラーの取り外し方を追加説明いたします。

2007年以降のホンダ純正、スズキ純正のバックミラーの構成は一部を除き下記図の様な仕様になっています。



バックミラーを取り外すときは、下記の図の様にターナーごと取り外してください。

